

令和6年度 横浜市たまプラーザ地域ケアプラザPDCAシート_公表用
(事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

・当地区の総人口は2023年度末で減少に転じ、一方で高齢化率は17.41%、認定率18.5%と増加傾向。居宅サービスの利用者割合は区内1位です。相談件数は年々増加、フレイルから介護申請する高齢者が多いですが、ケアマネジャー不足により、要支援認定の方に必要な介護予防ケアマネジメントに待機者が出ている状況です。また、介護保険に代わる地域の社会資源(老人会・サロン・ボランティアグループ等)も減少しており、高齢者の孤立が深刻化しています。地域包括支援センターとして、様々な場でエリアの現状をお知らせし、出張講座や地域ケア会議などを通して、住民主体の活動継続やニーズに合わせた資源開発を支援します。

・当地区は、青葉区内で最も多くの成年後見制度の申請件数の多い地域です。時代や社会の変化の影響もあり、家族・親族関係が疎遠・絶縁等の事情によって身寄りのない高齢の方が増加しています。そのような対象者・世帯に対し、適切な意思決定・権利擁護支援を実施していきます。

・区域の通所介護連絡会につき、コロナ禍や職員減少により閉会となり、多職種連携が希薄化した状況です。包括的・継続的ケアマネジメント支援の一貫として、通所介護連絡会の再興支援を行います。また、ケアマネジャー資質向上の為、自主勉強会や令和6年度介護報酬改定に準じた研修を企画開催いたします。

・健康意識の高い地域性のため、「ポジティブエイジング」の考えを広め、健康長寿に対する意識がより高まるよう介護予防活動を実践していきます。

・認知症支援として、地域に根差した認知症サポーター養成講座を開催します。

・駅に隣接している好立地のため、高齢者の来館も多いケアプラザですが、近年はADL低下等で駅まで来ることも困難な高齢者が増加しています。自治会域の中で気軽に「集う場」「通う場」を増やす取り組みを実施していきます。

・当地区は、子育て世帯が多く在住し、駅から雨にぬれずに通える立地のケアプラザであるため、親子が気軽に立ち寄り過ごせる場所を提供し、親子で参加できる事業も展開していきます。昨今、育児に不安をかかえる親御さんからの相談や悩みも増大してきており、また、お子さんの不登校やヤングケアラー事業も相談に上がってきています。こうしたお悩みや課題解決に向け、地域ケアプラザとして具体的なアクションを起こしていきます。

☐ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	山内地区・美しが丘地区ごとにエリア担当を設置し、地区サポートネット推進会議や自治会活動への積極参加を通して、包括支援センターの機能周知や、地域との関係構築をします。エリア毎に地域アセスメントを行い、個別レベル地域ケア会議を開催します。包括職員、生活支援コーディネーターそれぞれが把握している地域資源や通いの場の情報などを共有し、社会資源開発のためにデータを有効活用いたします。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	高齢者の意思決定・権利擁護支援を推進していくために、神奈川県弁護士会やリーガルサポート、コスモス成年後見サポートセンター神奈川、ぱあとなあ神奈川等の後見人業務を担う各種団体とのネットワーク構築の推進や、青葉区役所、在宅医療連携拠点、青葉区成年後見サポートネットとの関係性を強化し、支援を必要とする人を適切に制度やサービスに繋げていきます。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	包括主マネ分科会の多職種連携担当として、通所介護連絡会立ち上げの後方支援を行います(2024年3月キックオフミーティング開催・10事業所参加)。 介護報酬改定に伴い、特定事業所加算算定に適用研修として、ヤングケアラーや障害、生活困窮者などの多様な課題に対する事例検討会、研修を企画開催します。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	高齢者向けに介護予防や健康づくりの意識を啓発するために、介護予防講座を開催いたします。今年度は民間企業と連携し、免疫ケアをテーマに口腔・栄養講座を開催し、健康寿命の延伸に向けた取り組みを行います。また、前年度に続き男性向けの介護予防講座を開催し、高齢男性の地域参加を促進します。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	座談会形式を取り、認知症介護をしている当事者同士(ご家族・専門職)のセッションを通して、参加者自身が認知症の人の気持ち・介護者としての家族の気持ちに共感を高められるような講座を開催いたします。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	昨年度たまプラーザ団地で実施した自主事業「みんなで歌おういちにのさんの会」を、住民主体の運営になるよう、後方支援という形で実施し、2025年度以降地域高齢者の「通う場」となるよう推進していきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	子育て支援強化室(通称:ぶらざるーむ)設置されている地域ケアプラザとして、従来通り運営してきた親子のあそび場「スマイル♡ファミリー」事業を継続し、乳幼児とその保護者が安全に過ごせる場を提供していきます。その中で、育児に不安をかかえる親御さんやお子さんの発達についての相談を適宜受けられるよう、保育士資格をもつ専任スタッフが相談に対応し、必要に応じて関係機関につなげていきます。また、親子のあそび場「スマイル♡ファミリー」事業に連結して、「親子リトミック」「おはなし会」「ねんね講座」「栄養講座」等、お子さんの成長に合わせたプログラムを提供し、保護者同士が学びあえる事業も展開していきます。

■	□	不登校やヤングケアラーといった社会問題のケースも当地区で発生していることから、当ケアプラザや担当地区内に児童や生徒の拠り所となるサードプレイス(第3の場)の開発に着手します。会場は当ケアプラザや地域の拠点(自治会館・集会所等)を検討していきます。同時に担い手の発掘も行っていきます。※青葉区生活支援課所管「令和6年度地域ネットワーク構築支援事業」の活用
□	■	「たまプラーザ保育園ネットワーク会議」を今年度も継続して開催していきます。当ケアプラザが事務局を担い、近隣の公立私立保育園(約20施設)と参集式とWeb環境も駆使したハイブリットで年3回会議を開催して、担当地区内保育園との情報共有の機会を作っていきます。

◆ 事業報告・事業実績評価

□ 振り返り

地域社会がようやく平常時に戻り、昨年度は地域活動支援はもとよりケアプラザの自主事業も通常運営に戻して今年度を迎えました。地域活動が徐々に活発化していきなかつた中で、今年度重点的に取り組んだことのひとつとして、地域・生活両コーディネーターに加え、地域包括支援センター3職種4名の職員が地区別推進会議に加わり、個別課題と地域課題の連動を模索しました。5職種が地域情報の共有を強化し、地域課題について各職種の視点を加え整理しました。

今年度の特徴的な取り組みとして、包括カンファレンスⅠ「後見人業務を担う士業×ケアマネジャー意見・情報交換会」を開催し、成年後見制度の推進、チーム支援の構築に寄与しました。また「ヤングケアラー支援」研修も開催して、社会問題となっているヤングケアラー事案を適切に支援していけるよう関係機関に向け研鑽の機会を提供しました。多職種連携の実現に向け取り組んだこととして、区内通所介護連絡会の再興を行い、年3回連絡会を開催しました。また、「医療・介護の顔の見える場作り会議」への参加を誘致しました。

特徴的な取り組みの2点目は、今年度「青葉区ネットワーク構築支援事業」を活用して『子どもの居場所づくりボランティア養成講座』を開催。ヤングケアラーケースの今後の対応策として、地域で青少年を支援する仕組みの構築を始めました。昨年度は当包括支援センターが取り扱った総合相談件数が年間4,000近くとなり、超高齢化を肌で感じるなか、認知症カフェの毎月開催、認知症つながりシンポジウムの3年連続開催、認知症サポーター養成講座を年5回開催、介護者のつどいの隔月開催、多岐にわたるテーマで実施する介護予防普及強化事業を年17回実施して、高齢者支援も強化してきました。

子育て支援においては、定期開催している親子のあそび場「スマイル♡ファミリー」事業の運営を強化しました。5月には週2回開催の時間を1時間ずつ延長し、11月には区民の要望に応える形で、週3回開催に増回して、より多くの子育て世帯を受け入れ、応対できる体制を整えました。「スマイル♡ファミリー」では保育士の資格をもつ職員が常駐して、子育てに悩みをもつ来館の方の相談に応じており、必要に応じて行政等関係機関のご紹介を行ってきました。また、定期開催事業に加え、お子さんの年齢や成育に応じた「ねんね講座」や「おはなし会」「親子リトミック」といった多種多様のプログラムを展開して、当ケアプラザ子育て支援を充実させております。

□ 区からのコメント

・地区サポートチーム会議や地区別推進会議に、地域包括支援センターの職員が新たに参加され、地域課題を共有していただきました。次年度以降も、様々な視点で課題解決に向けて協働していただければ幸いです。

・包括カンファレンスでは、地区の困難ケースでも増えている「ヤングケアラー支援」について取り上げていただきました。ヤングケアラーの日々のケアや思いに寄り添い、受容する大切さや関わり方について、ケアマネジャーの理解を深めることができました。また、ケアマネジャーが抱える支援困難ケースについて、区も含めた支援者間での支援検討会議の場を設けていただき、今後の支援方針を関係者全体で考えることができました。引き続き、ケアマネジャーと地域を繋ぐ支援をお願いいたします。

・全3回のこどもの居場所ボランティア養成講座を共同で開催しましたが、地域住民の方々と「居場所」について考える貴重な機会となりました。座学のみで留まらず、田奈高校のびっかりカフェにてボランティアとしても参加することで、最終回での「この地域で求められる居場所を考えるグループワーク」は、経験に基づいた活発な議論の場となりました。

・親子のあそび場「スマイル♡ファミリー」事業の開催日、時間が拡充され、区に入った子育て支援の場の要望に応じる形にもなり、ありがたく思っています。今後も相談される養育者への支援をお願いしつつ、必要時情報提供いただければと思います。

令和6年度 横浜市たまプラザ地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>○地域住民からお問合せがあった場合、横浜市民に限らず、すべての方に対して丁寧且つ公平中立に対応します。</p> <p>○介護保険サービスに関する利用希望があった際、介護サービス事業者ガイドブックの内容に基づいて複数の事業所を提示します。</p> <p>○居宅介護支援事業所や介護保険サービス事業所等を仲介・調整する際、本人、家族には各事業所の特徴や内容、所在地等の情報を伝えた上で、本人、家族に選定していただきます。本人、家族の意向を尊重して、特定の事業所にサービス提供依頼が偏らないように公正・中立性を確保します。</p> <p>○ケアプラザ貸館については、施設利用マニュアルを遵守し、公平性をもって施設管理運営を行います。利用希望が競合する場合には公開抽選をもって公正中立的に対応します。</p>	<p>○事故防止については、様々な状況を想定した対応を備えておきます。所長をはじめ部署の管理者と定期的な会議を実施して、事案の検証と設備点検作業を行います。</p> <p>随時、発生した「インシデント・事故」については全職員で振り返り、同じ事案が起こらないよう全職員で意識を高めていきます。</p> <p>○個人情報保護については、「個人情報保護に関する規程」を定め、職員に遵守することを義務付けます。個人情報保護研修は年に1回の開催を必須とし、個人情報の取り扱い方や自主点検を行い、漏えい事故防止に努めます。個人情報をFAX送信する場合は、個人情報部分を必ずマスキングして、誤送付誤送信しないよう、必ず複数名で確認します。</p>
実績	<p>地域住民、来館ご相談者からのお問い合わせ・相談については、介護保険サービスやインフォーマルサービス等を適切にご案内しました。介護サービスのご案内については、近年当地区の居宅介護支援事業者が減少し、ご利用者へ複数の居宅介護支援事業所を案内することが困難になってきております。居宅介護事業所の複数選択の提供が難しく、課題が解消されておられません。</p> <p>ケアプラザの貸館業務については、複数の団体による利用希望日時の重複があった場合は、厳正な抽選により利用団体の選定を行い、また特定の活動団体が有利に利用することのないよう、公平中立な貸館運営を行いました。</p>	<p>当ケアプラザでは[安全管理委員会][感染症対策委員会][エコ環境整備委員会][所内研修委員会]といった委員会活動を全職員で担っており、各委員会検討協議した内容を定例会議にて報告して職員全員で共有しております。</p> <p>日常業務でヒューマンエラーが起こりやすい状況で、今年度は不本意ながら個人情報漏洩事故を1件起こしてしまいました。事故を起こしたことについて猛省し、コンプライアンスの意識を強化していきながら、今後、同じ事故を起こさぬよう気を付けていきます。</p>

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<p>○地域包括支援センター職員や介護予防プランナーが、ご利用者に寄り添い、ご利用者が望む自立した在宅生活が送れるよう、介護予防ケアマネジメントを行います。</p> <p>○担当地域のケアマネジャーが、ご利用者の自立に向けた介護予防支援・ケアマネジメント業務が行えるように、研修やケアプラン検証、個別相談などを通して支援します。</p> <p>○介護予防を受託可能な事業所が減少している現状から、インフォーマルの社会資源を紹介し、積極的にケアプランに位置付けてもらえるよう、ケアマネジャーへ周知していきます。</p>	<p>○ご利用者の心身の状況やご意向に応じて、望まれる在宅生活の実現を支援し、適切なサービスが利用できるようケアマネジメントを行います。</p> <p>○ご利用者の多様な疾病や生活環境の変化に応じた、きめ細かなサービス(フォーマル・インフォーマル)を調整していきます。</p> <p>○地域包括支援センターと連携して、地域課題を含め対応困難な事例にも積極的に取り組んでいきます。</p> <p>○ケアマネジャー連絡会、包括カンファレンス、法人内の勉強会への参加、及び他の居宅介護支援事業所との事例検討会を実施し、ケアマネジメントの手法について、職員個々のスキルアップに努めます。</p> <p>○特定事業所加算の要件でもある、介護支援専門員実務研修の実習生を積極的に受け入れます。</p> <p>○一人当たりの給付管理数をコントロールしながら、継続した収入の安定を図ります。</p> <p>○可能な限り、加算要件になる案件は検討し採用していきます。</p> <p>○ITを活用したモニタリングを検討、環境整備を行い、実施します。</p>
利用料金	<p>【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額</p> <p>【その他料金】</p>	<p>【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額</p> <p>【その他料金】</p>
職員体制	看護師2名 ケアマネジャー1名 社会福祉士2名 計5名(管理者1名含)	ケアマネジャー 計3名(常勤兼任1名、常勤専従2名)
契約者数	196	120

令和6年度「横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	20,718,373	77,025	20,795,398	20,247,135	548,263	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	333,900	△ 333,900	
雑入	70,000	0	70,000	20,021	49,979	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	70,000		70,000	20,021	49,979	
その他			0		0	
その他			0		0	
収入合計	20,788,373	77,025	20,865,398	20,601,056	264,342	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,128,000	77,025	12,205,025	12,232,156	△ 27,131	法人本部経費が含まれているかどうか明記してください 無
本俸	11,000,000	77,025	11,077,025	11,074,664	2,361	
社会保険料	955,000		955,000	969,276	△ 14,276	
手当計			0		0	
健康診断費	45,000		45,000	64,053	△ 19,053	
勤労者福祉共済掛金	43,000		43,000	40,125	2,875	
退職給付引当金繰入額	85,000		85,000	84,038	962	
その他			0		0	
事務費	1,025,000	0	1,025,000	2,445,136	△ 1,420,136	法人本部経費が含まれているかどうか明記してください 無
旅費	80,000		80,000	39,269	40,731	
消耗品費	160,000		160,000	274,360	△ 114,360	
会議明い費	15,000		15,000	27,966	△ 12,966	
印刷製本費	210,000		210,000	201,528	8,472	
通信費	280,000		280,000	514,074	△ 234,074	
使用料及び賃借料	197,000	0	197,000	149,440	47,560	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	17,000		17,000	16,685	315	
その他	180,000		180,000	132,755	47,245	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	45,000		45,000	181,534	△ 136,534	
職員等研修費	20,000		20,000		20,000	
振込手数料	18,000		18,000	50,839	△ 32,839	
リース料			0		0	
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	
その他			0	1,006,126	△ 1,006,126	
事業費	700,000	0	700,000	520,991	179,009	法人本部経費が含まれているかどうか明記してください 無
運営協議会経費			0		0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	700,000		700,000	520,991	179,009	
その他			0		0	
太陽光パネル保守点検	0	0	0	0	0	
太陽光パネル保守点検			0		0	
太陽光パネル修繕（追加）	0	0	0	0	0	
太陽光パネル修繕（追加）			0		0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）	0	0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）			0		0	
管理費	4,400,000	0	4,400,000	4,829,166	△ 429,166	法人本部経費が含まれているかどうか明記してください 無
光熱水費	1,300,000		1,300,000	1,435,547	△ 135,547	
清掃費	1,210,000		1,210,000	1,513,798	△ 303,798	
機械整備費	115,000		115,000	114,708	292	
設備保全費	1,775,000	0	1,775,000	1,765,113	9,887	
空調衛生設備保守	1,700,000		1,700,000	1,668,480	31,520	
消防設備保守	75,000		75,000	70,563	4,437	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費			0	26,070	△ 26,070	
共益費			0		0	
その他			0		0	
修繕費	474,000		474,000	405,737	68,263	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	法人本部経費が含まれているかどうか明記してください 無
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	法人本部経費が含まれているかどうか明記してください 無
支出合計	18,727,000	77,025	18,804,025	20,433,186	△ 1,629,161	
差引	2,061,373	0	2,061,373	167,870	1,893,503	

自主事業費 収入	180,000	0	180,000	333,900	△ 153,900	
自主事業費 支出	700,000	0	700,000	520,991	179,009	
自主事業 収支	△ 520,000	0	△ 520,000	△ 187,091	△ 332,909	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	70,000	0	70,000	20,021	49,979	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	17,000	0	17,000	16,685	315	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	53,000	0	53,000	3,336	49,664	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和 6 年度「横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	31,401,041		31,401,041	30,773,894	627,147	横浜市より
指定管理料【介護予防】	150,000		150,000	150,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	0		0		0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	4,785,074		4,785,074	4,785,074	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	120,000		120,000		120,000	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	150,000		150,000		150,000	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	180,000		0	87,000	△ 87,000	
雑入	20,000	0	20,000	5,324	14,676	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	20,000		20,000	5,324	14,676	
その他			0		0	
収入合計	36,806,115	0	36,806,115	35,801,292	1,004,823	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	31,495,000	0	31,495,000	31,033,618	461,382	法人本部経費が含まれているかどうか明記してください 無
本俸	26,700,000		26,700,000	26,390,566	309,434	
社会保険料	4,200,000		4,200,000	4,105,878	94,122	
手当計	0		0		0	
健康診断費	55,000		55,000	51,887	3,113	
勤労者福祉共済掛金	40,000		40,000	33,375	6,625	
退職給付引当金繰入額	500,000		500,000	451,912	48,088	
その他			0		0	
事務費	1,436,500	0	1,436,500	1,332,176	104,324	法人本部経費が含まれているかどうか明記してください 無
旅費	25,000		25,000	14,740	10,260	
消耗品費	280,000		280,000	253,978	26,022	
会議諸費	15,000		15,000	7,434	7,566	
印刷製本費	250,000		250,000	177,332	72,668	
通信費	500,000		500,000	373,747	126,253	
使用料及び賃借料	184,500	0	184,500	171,050	13,450	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	4,500		4,500	4,435	65	
その他	180,000		180,000	166,615	13,385	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	62,000		62,000	48,256	13,744	
職員等研修費	90,000		90,000	4,681	85,319	
振込手数料	30,000		30,000	13,514	16,486	
リース料			0		0	
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	
その他			0	267,444	△ 267,444	
事業費	1,430,000	0	1,430,000	394,358	1,035,642	法人本部経費が含まれているかどうか明記してください 無
協力医	630,000		630,000	21,000	609,000	予算:指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	500,000		500,000	115,819	384,181	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	150,000		150,000	150,000	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0		0		0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	150,000		150,000	107,539	42,461	
その他			0		0	
管理費	1,180,000	0	1,180,000	1,283,702	△ 103,702	法人本部経費が含まれているかどうか明記してください 無
光熱水費	350,000		350,000	381,601	△ 31,601	
清掃費	330,000		330,000	402,402	△ 72,402	
機械警備費	30,000		30,000	30,492	△ 492	
設備保全費	470,000	0	470,000	469,207	793	
空調衛生設備保守	450,000		450,000	443,520	6,480	
消防設備保守	10,000		10,000	18,757	△ 8,757	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	10,000		10,000	6,930	3,070	
共益費			0		0	
その他			0		0	
修繕費	126,000		126,000	107,853	18,147	予算:指定額
公租公課	0	0	0	0	0	法人本部経費が含まれているかどうか明記してください 無
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	法人本部経費が含まれているかどうか明記してください 無
支出合計	35,667,500	0	35,667,500	34,151,707	1,515,793	
差引	1,138,615	0	1,138,615	1,649,585	△ 510,970	

自主事業費 収入	450,000	0	450,000	87,000	363,000
自主事業費 支出	800,000	0	800,000	373,358	426,642
自主事業 収支	△ 350,000	0	△ 350,000	△ 286,358	△ 63,642

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	20,000	0	20,000	5,324	14,676	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	4,500	0	4,500	4,435	65	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	15,500	0	15,500	889	14,611	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和6年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書＜介護保険事業分＞

施設名：横浜市たまプラザ地域ケアプラザ

6年4月1日～ 7年3月31日

(単位：千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	4,050	3,428	622	8,800	8,159	641	20,700	14,579	6,121			0			0
	その他	0	0	0	0	130	-130	500	185	315	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0		130	-130		185	315			0			0
	収入合計(A)	4,050	3,428	622	8,800	8,289	511	21,200	14,764	6,436	0	0	0	0	0	0
支出	人件費			0			0	22,100	22,502	-402			0			0
	事務費			0			0	2,100	2,316	-216			0			0
	事業費			0			0	350	355	-5			0			0
	管理費			0			0		0	0			0			0
	その他	2,500		210	5,500	5,876	-376	300	310	-10	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	2,500	2,290	210	5,500	5,644	-144			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0		232	-232	300	310	-10			0			0
	支出合計(B)	2,500	0	210	5,500	5,876	-376	24,850	25,483	-633	0	0	0	0	0	0
収支 (A)－(B)		1,550	3,428	412	3,300	2,413	887	-3,650	-10,719	7,069	0	0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和6年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業					■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業				1：優先的に取り組みが求められる事業	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）					4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）						7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	「スマイル♡ファミリー」	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て世帯が交流できる場を提供する。 参加申込不要。お子さんを安全な環境で遊ばせながら、保護者同士の交流を図り、育児の不安や孤立解消を目指す。歯科/育児相談や公民保育園より後方支援をいただきながら運営していく。	4:子ども・青少年		・午前2時間、午後2時間の事前申込なしによる事業。(祝祭日も通常開催) ・入室状況、スマイル内でのイベントについては随時X(旧Twitter)で発信する。	153	5186
2	たまプラベビーマッサージ	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	母子の触れ合いは、親子の絆(アタッチメント)を育むかけがえのない時間となる。 ベビーマッサージを通してリラックスしたり、講師や親子との交流の時間を持つ。 ・母子のスキンシップで血行を良くし、安眠へ促す。健康に育てる。 ・学びあいながら交流する。	4:子ども・青少年		・乳児とその保護者対象 ・ベビーマッサージの講義と実技と質疑応答・交流。 ・あかちゃんのタッチの方法を学び、血行を良くし免疫を高める。	6	73
3	あかちゃんのためのねんね講座	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	0～1歳児親子の講座・交流・相談とする。 ・美しが丘や山内の子育てNW会議にて「気軽に相談できる場が欲しい」「大人の女性と話したい」という要望が多かったため、相談機能のある親子の講座で学び交流相談とする。	4:子ども・青少年		・親子参加 ・0～1歳児未満はベビーマッサージ講座 ・1歳～3歳児未満はねんね講座 ・講座(40分)+フリー(質疑応答や交流など30分) ・質疑応答は1対1で順番に質問をする時間を設ける。 ・みんなの前では質問はなかなか出ない傾向がある。 (申込時に相談内容を予め聞いておく) ・親が安心するため、1歳児の時には、子どもにはおもちゃを出しておく。(スマイル♡ファミリーのおもちゃ使用)	5	47
4	親子で楽しむおはなし会～わらべうたであかちゃんと遊ぼう～	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て中の母親と子どもの居場所づくりと交流・仲間づくり、親子のスキンシップの機会を作る。また、親子でのわらべうたや絵本との出会いを創出し、情緒を深める。	4:子ども・青少年		ボランティアグループ「おはなしあんころもち」による絵本の読み聞かせを主体に、親子で触れ合うわらべ歌や絵本にちなんだ工作、パネルシアター、紙芝居等を取り入れたお話し会。 ・おはなし会の後はフリータイムとし、気軽に子育てや絵本のことなど相談したり、参加者親子と講師たちや参加者同士の交流する機会を設ける。 ・単発で回数を多く行い、いろいろな親子が参加できるようにする。 ・自宅でもわらべうたなど歌ったり紹介された絵本を借りたり買ったりできるように、レジュメなどをまとめて、各回配布し、ミニ講座を行う。	10	182
5	二人目ママのトークサロン@美しが丘子育てひろば	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	美しが丘子育てエリア会議でテーマに上がり、ニーズの高い、二人目以降が生まれた後の育児について気軽に語り合う会。一人目と違い、公的な集まりがない中、育児の悩みを抱えがちなママ達への孤立防止	4:子ども・青少年		二人目、三人目が生まれた中での育児の工夫等を話し合い、情報交換する場。美しが丘民児協の協力の下、「子育てひろば」内で行う。	0	0
6	おやこでリトミック	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	音楽に合わせて身体を動かし、ケアプラザで安心して親子で楽しく過ごすようにしてもらおう。閉じこもり予防、他者との交流のきっかけを作るための場の提供。	4:子ども・青少年		今年度は毎回募集とし、抽選制。定員7組を入替制で2回行い、1日に14組の参加を予定。	9	241
7	のんびりすごそうの会	令和6年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	学校をお休みしている小学生・中学生・高校生と保護者のための集まりの場(サードプレイス)をケアプラザで提供する。	4:子ども・青少年		当事者とプログラムを考えながら、お茶とお茶菓子を提供。 ボードゲームやカードゲーム等を提供し、参加者同士交流をもてるような雰囲気づくりを心がけ、居心地のよい空間を構築する。 毎月第2,4(木)10:00～11:00に開催。	24	98
8	おもちゃのひろば@たまプラーザ	平成26年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	・発達の心配のあるお子さんをお持ちの親子でも楽しく遊べる場「あおばおもちゃのひろば」の周知として、たまプラーザ地域の親子のフリータイムとして開催する。 ・療育センターでも好評のこどものおもちゃを、子を遊ばせながら作るWSを実施することで、子育ての視点を変えた、関わり合いの変化を生み出す。 ・発達の心配、障害のあるお子さんの家族が安心して相談できる場として、おもちゃをツールとして育児不安を和らげ、ストレス軽減を図る。 ・引きこもりがちな障がい児の家族が外にでるきっかけとなるよう、地域の学生や障がいの登録団体や活動されている方やボランティア参加が関わるきっかけづくり。 ・対象を限定せず、障がいや遊び場の誰でも同じ場で遊び交流する機会づくり。 ・地域に発達の心配な親子の楽しく遊べる「おもちゃのひろば」の存在が周知されることで、安心して来館し、身近な場所で相談できることが期待される。	2:障害児・者	4 令和6年度は、ニーズの把握ができず、開催できなかった。	0	0	

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業		1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）				7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
9	みんなでつくる文化祭	令和元年	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	当ケアプラザで貸部屋利用登録団体Ⅱに属する団体に対し、ステージ発表、作品展示、イベント運営等で関わっていただくことによって、団体同士やケアプラザに訪れる区民との交流を図る機会を提供するとともに、参加する団体Ⅱの福祉保健活動（ボランティア）の機会とする。	5：地域	2	対象：当ケアプラザを利用する登録団体Ⅱから参加を希望する団体 概要：2024年11月17日（日）10：00～15：00 貸部屋利用登録団体Ⅱによるパフォーマンス・作品展示 運営お手伝い および近隣地域の作業所等による軽食等販売 会場：ステージ発表が多目的ホール1 多目的ホール2 地域ケアルーム 作品展示として、ボランティアルーム、廊下を使用	1	507
10	貸館団体代表者会議	平成30年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	貸館ルールの再確認と団体同士の交流、福祉保健活動の相談機会の場として開催する。	5：地域		上半期に1回開催予定	1	77
11	認知症予防カフェ「ブラぶらっとカフェ」	平成26年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	認知症や集う場を持たず引きこもっている住民が誰でも集える場、症状進行の予防・症状の改善や廃用性機能低下の予防を図る場とする。また、地域を支える支え手（ボランティア）の活躍の場を提供し、地域住民の発案と運営にて開催していけるようサポートする。	1：高齢者	5	・毎月4金曜日 13：30～15：00で開催 ・地域住民（認知症の方やご家族または関心のある方）対象 ・定員：40名	12	562
12	あたまもカラダもスッキリたまプラトレーニング	令和6年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	介護予防の一環として、当CPを会場に一般高齢者に脳トレや体幹を鍛えるトレーニングを行い、健康寿命を促進する。	1：高齢者		・毎月2火曜日 13：00～14：30 ・地域住民（一般高齢者） ・定員：25名	9	188
13	健康ボイストレーニング	令和2年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	フレイル予防の一環で、正しい姿勢で呼吸法を学び、声を出すことで口腔機能の改善・向上の促進を目指す。地域のシニアの居場所づくりや交流を図る。	5：地域		ストレッチで体をほぐし、腹式呼吸を学び声の出し方を学ぶ。課題曲を毎回季節に合わせて2曲ほど実践練習として唱和する。	8	236
14	火曜に団地で歌う会	令和6年度	3：生活支援体制整備事業	2：発展させるねらい	・正しい発声で声を出す、季節の歌や懐かしい曲を歌うことで口腔機能の維持や、介護予防を目的とする。 ・開催場所をCP外（たまプラザ団地集会所）に設定し、参加者の地域も限定（美しが丘1～3丁目）することで対象地区住民の「出る場所・通う場所」として定着化し、2年後以降に地域の自主的な活動となるよう支援していく。	1：高齢者		・声が出やすくなるウォーミングアップと発声 ・季節の歌、童謡、参加者になじみの深い歌謡曲の歌唱 令和6年4/16、5/21、6/18、7/16 毎月第3火曜日 10：00～11：30 全4回	10	274
15	出張なんでも相談CO-NIWAカフェ	令和3年度	3：生活支援体制整備事業	2：発展させるねらい	ケアプラザ外で活動することにより未利用者への周知と「気軽に相談できる場所」の確立を目指す。 また相談所の機能と併せて地域で活動している団体の活動を紹介することによって、地域と団体をつなぐ役割を果たすことを目的とする。	7：その他	1.4	・毎月第4水曜日 13：00～15：00 たまプラザドレッセンスE内コミュニティコアにて開催 ・ケアプラザ及び包括支援センターの役割の紹介	10	12
16	介護者家族の集い	平成30年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	介護者家族を対象に、同じような介護の悩みや不安を抱えている人同士のピアカウンセリングや、日々の介護で役に立つ情報共有や交換、一時介護を離れて心身の休息（レスパイトケア）を目的として開催する。	7：その他		ミニ講和や茶話会を中心に開催。	6	29
17	わたしノート講座	平成30年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	第7期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に位置付けられている「本人による自己決定支援、エンディングノート等の作成・普及等」を目的に、「わたしノート」を手元に置いて実際に記入する場を設けて、これまでの人生の振り返り、今後どのように生活をしていくかを考えるきっかけづくり提供する。	1：高齢者		高齢者の住まい、お金、遺言、認知症等のテーマに分けて実施。	3	98
18	認知症つながりシンポジウム2024	令和4年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	9月世界アルツハイマー月間に向けた取り組みの一環として、2022年から継続して実施している「認知症つながりシンポジウム」を今年度も開催して、地域住民に向け、認知症の理解を深め、支援の連携を図るきっかけとする。 今年度は、「青葉区読書活動推進重点取組」として実施される“地域ケアプラザで、認知症関連本のコーナー「Dボックス」をつくり、ワークショップを開催しませんか？”とタイアップして、当ケアプラザ館内エントランスホールに認知症に関する書籍コーナーを常設して、認知症予防の普及啓発につとめる。	5：地域		基調講演・シンポジウムファシリテーター 横浜総合病院 臨床研究センター・横浜市認知症疾患医療センター センター長 長田 乾 氏 第1部（15：00～15：50） 基調講演「認知症になりにくい人・なりやすい人の習慣」 第2部（15：55～16：25）シンポジウム 参加者（地域住民）との座談会形式で行い、事前に収集した質問に加え、第1部の講演を受けての質問も含め、対話形式で進行していく。	1	46
19	たまプラ保育園ネットワーク会議	令和4年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	公民およそ20の保育園とケアプラザがこどもの健康管理についてや運営・子育て支援についての情報共有の場として機能してきた。上半期は協働で実施してきたが、下半期から当ケアプラザの役割としてオブザーブ参加となり、主体は公民保育園になった。	5：地域		年間2回の会議を予定 その中で8月に当CPを会場に開催される「Aonicoひろば」の後方支援も行い、その事前打ち合わせと振り返りの機会としても活用する。	2	39

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業		1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）				7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
20	介護者の集い講座「心の健康を保つスキル」	令和6年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者の集いに参加された方から、「セルフコンパッションを学びたい」というの要望を受け、介護されている当事者自身が思いやりや慈悲 (compassion) を向ける考え方を学ぶ機会を提供する。介護という大変な状況におかれても前向きな気持ちを持ち続けられるようレクチャーする。	5:地域		専任講師(民間産業医事務所所属看護師)による講話と参加者同士の意見交換	1	10
21	てんとうむしサロン	令和4年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	地域の高齢者の通いの場、交流の場を目的とする。神奈川県転倒予防防医学研究会主催の「転倒予防体操」と共に「てんとうむしの会」として開催。	1:高齢者		転倒予防トレーナーによるミニコーナーや懐かしの歌、おりがみなど、月替わりのレクリエーションや参加者での語らいの時間などを設ける。	10	94
22	なごみサロン	令和4年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	地域の高齢者や住民が、集い、交流をする場として実施。ボランティアにも協力をしてもらうことで、将来的な地域の人材発掘、育成にも繋げていくことを目的とする。	1:高齢者		画一的なプログラム内容は設けず、手芸やオセロ等の遊び、運動、体操、脳トレ等々、さまざまなメニューを用意し、参加者は自由に過ごすことができる。	10	57
23	ワイルドフラワーとフレッシュグリーンを使った春のリースづくり	令和6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の「花育」を推進する団体との共催事業。植物というツールを用いて地域活動に参加するきっかけ作りとする。	5:地域		人気のワイルドフラワーとユーカリなどのフレッシュなグリーンを使って、ハーブリーススタイル(三日月型)のリースを作り、生花で作るリースは飾っていくうちに自然にドライになっていきます。生花のグリーンからアンティークなカラーに変化する様子も楽しんでいただく。	1	27